

8/27(土) 14:15~15:30
防災実践者による分野別のディスカッション
(2)企業の対応と自治体との連携

株式会社プレシード 社長
松本 修一 様

熊本地震での 一地元企業の対応報告

株式会社プレシード
代表取締役 社長 松本 修一

1.株式会社プレシード 会社紹介

社名 株式会社プレシード

本社 熊本県上益城郡嘉島町井寺250-9

設立 1989年11月（平成元年）

代表者 松本 修一

売上高 20億円（平成27年12月期実績）

資本金 1億9900万円

従業員数 94名（平成28年5月現在）



【人員】

◆設計	11名
◆電気・制御	7名
◆製造	18名

工場・事業所

- 【加工センター/技術研究所/食品事業部】
熊本県宇城市松橋町（松橋ICより10分）



- 【嘉島事業所】
熊本県上益城郡嘉島町（御船ICより5分）



- 【東京事業所】
 - ◆東京都大田区（最寄駅：蒲田駅）
- 【関西R&Dセンター】
 - ◆滋賀県草津市（最寄駅：JR南草津駅）
- 【中部日本事業所】
 - ◆長野県岡谷市（最寄駅：岡谷駅）
- 【海外法人】
 - ◆上海 新魁機電科技（上海）有限公司
 - ◆タイ Preceed(Thailand)co.,ltd

業務内容

- 生産ライン（搬送設備） 設計製作
 ガラス・カセット・フィルム（FPD・PV・TP向け）
 LD/ULD・コンベア・昇降装置・移載装置
 ロボットを使用したハンドリング
- 各種自動機（組立装置、検査装置） 設計製作
 半導体・液晶・電子部品・自動車関連
- 産業用インクジェット装置（ヘッド搬送・供給系等）
- クリーンブース設計製作
 局所クリーンブース・製造ラインクリーン化・装置カバー
 大型ロボットブース・安全柵
- 太陽光発電、風力発電事業
- 食品加工事業（あかねグラノラ）



製作事例



成型装置



LCD自動組立装置



大型ブース



ガラス基板供給装置

2. 熊本地震経過と被害-1-

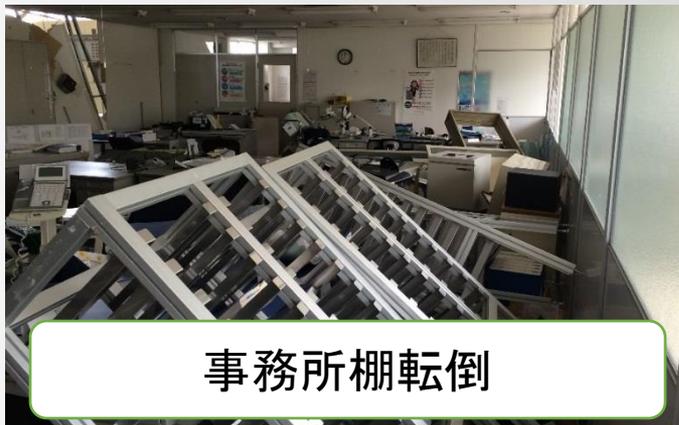
- 震源と弊社の位置関係



2. 熊本地震経過と被害-2-



- 工場内の地震直後



2. 熊本地震経過と被害-3-



- 自宅被災写真



前震時自宅室内



本震時自宅室内



自宅室内



自宅室内

2. 熊本地震経過と被害-4-



- 民家（本社の有る嘉島町被害状況）



ドローン空撮



上空より



応急危険度判定



地上より撮影

2. 熊本地震経過と被害-5-



- 高速道路



高速崩落場所付近渋滞8/20撮影



高速橋脚修理8/20撮影



高速道路脇電柱8/20撮影



高速橋脚修理8/20撮影

2. 熊本地震経過と被害-6-



- 熊本城

熊本城5/1撮影



熊本城5/1撮影

2. 熊本地震経過と被害-7-



- 工業団地内隣接工場 ドローン撮影他



工業団地被災写真



工業団地被災写真

2. 熊本地震経過と被害-8-

- 水道管破断修復道路掘削工事



工業団地水道管修理



2. 熊本地震経過と被害-9-

- 各地からの支援物資、取引先からの持ち込みと配送



頂いた支援物資(一部)

3.地震への対応



地震からの発生事項

- 輸送ルート：壊滅状態 九州新幹線 高速道路破壊 一般道路、橋、空港
- 食料：農業県熊本で一時は食料不足 水の都の断水
店頭から食品が消え県外への買い出しなど発生
- インフラ：電気 水道 ガス 温泉に長蛇の列 水洗トイレはタンク式か
- 天候：雨で復旧遅れ ついには洪水まで発生

発生からの経過

前震

突然の発生に判断遅れる：電話不通→熊本市中心街から会社と自宅へ何れに向かうべきか自問→車運転移動（もし飲酒していたら…）→会社より無事の連絡→自宅へ

朝、出勤後に社内の後片付け 近所より避難者を自宅へ受け入れ

4.実録「熊本地震」



*****以下メール記録メモ等中心に*****

熊本地震、「熊本は全く地震と無縁」と思って生きて来た中で突然やってきた。

最初の地震（序章）は4月14日21時26分突然訪れた。…中略…

各本部長からメールや携帯電話の報告が次々動く。海外含め各地の知人から電話やメールが相次ぐ。

4月15日午前0時46分（前震後3時間20分経過）全社一斉地震メール第一報

「社員各位

本社隣接の益城町で大きな地震が発生し、未だ余震が続いている。

現状では人的被害はS課長の帰宅途上でのバイク転倒負傷以外は届いていない。

但し、工場の被害は停電中でもあり被害は不明。

確認を明日急ぎたい。

サーバー等の…中略…**被害の掌握**を急がねばならない。

家庭の被害が軽微であれば、先ずは会社の被害掌握と復旧に力を合わせ協力願いたい。

対外的な約束事への影響等含め、今後への影響を一刻も早く掌握し対策せねばならない。

各本部長中心に各部門の対応宜しく」

4月15日8時25分（前震後1時間経過） 社内に社外連絡用文章として以下配信する。

「社員各位

以下を連絡必要なところあればコピー連絡されたし

『関係各位

もうすでにご承知のことと存じますが、昨夜熊本市周辺で巨大地震が発生しました。**現在も余震が多発する中、社員一同復旧を開始**しました。

各地よりご心配のメールや電話を戴き心より御礼申し上げます。

現状掌握した状況は以下の通りです。

- ・本社および嘉島南事業所は電気復旧、断水中
- ・松橋事業所は電気使用可、断水中
- ・組立中及び出荷前装置の転倒は無し、部品再作と再調整多発予測、掌握中
- ・サーバー、DATA被害は不明
- ・本社および嘉島事業所内の機材転倒散乱多発
- ・周辺道路は通行可能、但し信号停電中
- ・コンビニなど食料品など調達不能

以上取り急ぎご報告申し上げます。』

私も各地へ一斉配信した。」

15日夕方には何とか一部の機能を残し復旧でき、週明け月曜からは通常の業務が出来ることを確認し家路についた。

本震

4月16日午前1時25分26秒（本震発生）

深夜の**すべてを破壊尽くすような大激震**→停電

…中略…

4月16日午前2時45分（本震後1時間20分経過）自宅より第一回目の社内一斉配信メール

「消息を確認したい。各本部長で掌握を進めて貰いたい。生活や安全に優先するものではない。今後の情報交換と助け合いの為にもよろしく。」

4月16日第2報午前2時58分（本震後1時間33分経過）社内一斉配信メール

「我家の建屋内は足の踏み場もないほど、**外は水道管破裂、地割れ発生、家族は無事**、交通遮断が多発するかもしれない。特に橋は今後交通遮断増えるだろう 各自の無事を祈る。」

4月16日第3報午前3時15分（本震後1時間50分経過）社内一斉配信メール

「今後の情報掌握の為に余裕あれば各自の無事の返信待つ

我家ではテレビは見えてる。

各地停電断水は多いようだ。我家も水が止まった」

4月16日午前7時19分（本震後5時間54分経過） 停電もあって携帯電話よりの一斉配信テスト

「おはよう 携帯より一斉送信テスト

現状では社内人員に怪我など情報なし

本社と嘉島南に向かって見ようと思う。

気がかりあったら返信連絡こう」

…中略…

土曜日ではあったがあちらこちらの工場で点検見回りや跡片付けが始まっていた。

本社のカギを開けて中に入ると事務所の棚は殆ど転倒している。

…中略…

全て床に無残な状態で散らばっていた。

しかし、何故か口惜しさも勿体ないという**気持ちも失せて冷静に眺めることが出来た**。復旧も頭に浮かばず他人事のように見て回った。人間、いざという時には不思議と冷静なものだ。ジタバタしても始まらない。

16日8時13分 (本震後約6時間48分経過) 携帯よりメール

「会社に着いた。**被害は昨日を遥かに上回りそう**だ。詳細後ほど。」

嘉島南事業所の工場壁剥落に対する緊急雨対策など一部幹部と電話協議。

当日の出勤は見送り ごく一部社員が緊急チェックに出社**16日9時44分** (本震後8時間19分経過) 携帯より一斉配信メール

「地震連絡4

以下を各部門の責任で進めて貰いたい。

勿論、**安全優先だし被害の拡大防止が優先**だが

総務は建物と**ライフライン**の被害掌握と復旧予定確認
食事段取り

経営企画はサーバーなど社内システム復旧

設計はCAD使用環境復旧、場合によっては場所を仮移転して業務復活

製造は装置と環境の復旧と再発防止対策 **加工センター**は機器点検と生産復活、

営業は納期変更など顧客対応 を。

…中略…

被害地域が広く深刻だ。急がないと人や機材が入手不能となる」

自宅へ戻り暫くして**幹部へメール**

4月16日午前10時49分 (本震後9時間24分経過) **幹部連絡**

「まずは今後の対策会議を開きたい。

…中略…

まずは**明日、朝から本社で8時より**本部長会議を開きたい。一般社員は早めに昼食を取った後11時出社ということでスタンバイさせておこうかと思うが意見聴きたい。

勿論、家庭の事情で参加できない社員もいるだろう。

…中略…

8時から10時までに入社などの方針も決めようと思う。工場の壁や棚の被害も酷い。整備後、電気水道などインフラ整備整うまで一時帰休もあり得ると思う。

まずは本部長は明日8時目指しての出勤としたい。出席の可、不可を返信連絡こう。

総務も誰か参加させたい。H課長代理が筋だろうが、

…中略…

S本部長、検討あれ。

社長」

4月16日16時44分（本震後15時間19分経過）社内一斉送信

「社員各位

今夜暴風雨が予測されているらしい。

先ずは無事に遣りすごしたいものだ。

これ以上の悪化要素なければ、本部長各位には明日朝8時に本社に集合し今後の対策方針を検討したい。

社員諸氏には出来る人は**11時に食事済まして集まる準備**を願いたい。今のところ食事を提供できる見通しがないので。勿論、出来る範囲で構わない

最終的には明日朝10時までの方針を決めて発信する予定。

人によって困難度は違うと思うので各人の思いは尊重したい。会社としては復旧への見通しを作り、人や機材の調達のめどを立てないと入手困難の壁に出会い遅れてしまう。

…中略…

未だ先が見えないのが残念だ。

だんだん暗くなり風が強くなる。**工場の破れた壁も気になるが**、各位には先ずは**今夜は家族と周辺を守って貰いたい**、無事と健闘を祈る。

取り急ぎ連絡

社長」

翌日の出社まで各地からの安否確認メールや電話への対応しながら、自宅の**生活空間確保作業**。まさに足の踏み場もない状況だ。昨日の地震後整理したのが傷を大きくした。2回目の地震で全ての物が棚から放り出された。…中略…、**感傷に浸る暇もない…あまりにも量が多く長期戦になると決め**、…割れた飾り物、茶碗、グラスも数知れず。

負けんぞ！復旧すっぞ！

4月17日日曜午前8時（本震後30時間経過） 本社研修室で幹部緊急会議

各自の状況、社員の安否の報告。朝4時に起きて駆けつけた役員もいた。あちらこちらの道路状況などの情報交換しながらも、全員と連絡を取れ、家族共に無事を確認。被害の全容は掴めないが、全員が無事であることと**社内の電気が回復したことは明るい兆し**であった。断水の回復は欲張りと言え思う程、壁は落ち全ての物が転倒し或は棚から飛び出し、社内は酷いありさまだった。

被害を見て回って火事や漏電に用心しながら被害を掌握、**まずは歩ける工場と事務所**への復旧を目指そうと全社員に以下の**出社要請メール**

4月17日8時55分（本震後31時間経過） T本部長より代理発信

「社員各位

本日8時より本部長以上にて会議し、本日の復旧対応について以下の様に定まりました。

- ・集合 **11時までに集合**（本社、嘉島南社員は**本社集合**。松橋社員は**松橋集合**）
- ・終了 **目標終了時間15時**（ただし、人数による）
- ・作業 各本部長より指示するが、主に**通路の確保、棚の立て直し**、PC起動確認など
- ・勤務 本日の作業は日報へ入力の事
- ・トイレ 近隣の嘉島町役場や小中学校の仮設トイレを利用可能（本社、嘉島南は貯め置き水で利用を目指す）
松橋も貯水槽の水使用可
- ・**食事** 11時までに食事を済ませて集合（11時以降は食事の時間は取らない）
- ・**飲み物** 本社、嘉島南、松橋とも自販機は稼働中
- ・**電気** 本社、嘉島南、松橋とも電気は通常通りきている
- ・**LAN** 現時点で**社内ネットワーク**は利用できない（本日復旧を試みる）
- ・**電話** 本社、嘉島南とも電話は利用不可（本日復旧を試みる）

以上」

11時に社員多数出勤 16時まで被害チェックと復旧作業！

業務再開・復興へ

18日午前7時11分（本震後53時間経過） 毎週月曜恒例の「月曜トップメッセージ」配信

「月曜トップメッセージ20160418」

14日木曜夜に始まった熊本地震が続いている。昨日は休日の招集に**多くの社員諸君が駆けつけて呉れて涙が出るほど嬉しかった。**

今後の見通しは地震学者でさえわからないが、被害がこれ以上拡大するのは我々の知恵と汗で何とか最小限に食い留めたいとの思いから皆に声かけた。**ほとんどすべての人が家庭の復旧という課題ある中で**

…中略…

日本各地の取引先からは「手伝えることや不足するものがあつたら遠慮しないで言ってくれ」と**多くの支援の中にいる**のを感じた。

地震の今後の成り行きが私には予想がつかないが、それでも我々は企業活動を維持し皆の生活の糧を満たさねばならない。

…中略…

これを…中略…**変化を加速するチャンス**としたいものだ。

とはいえ今日から建物や設備の修理をしながらの再開となる。**当たり前の水**さえ未だ確保されていない。いかに当たり前のことを維持することが大変なのか…中略…、諸君一人一人の活躍で維持し進化していることを見直しながら、張り切って**チャンスを活かそう。**

個人の家など含め、皆が大きな被害を抱えてのスタートになる。

助け合い、励まし合おう！

4月18日8時45分（本震後2日7時間経過）社内一斉配信

「復興へ1

各位

昨日は悲惨な状況の中で駆けつけて呉れて感謝に絶えない。食事何もできない中で来てくれた諸君、正規社員でもないのに最後まで手伝ってくれた人、感謝で一杯だ。

さて、**今日からは会社が社員を守らねばならない**。長期的には勿論、仕事と雇用だが、**緊急は諸君の生活**である。

困難に正規社員も非正規社員もない。**会社に貢献してくれる人を守れての会社**である。

食事に困ったり、寝るところに困った人があれば申し出てもらいたい。

…中略…

食べ物緊急は確保したし、米はある。少なくとも玄米は(笑)

とにかく本部長に遠慮なく申し出てもらいたい。

洗濯や風呂などは私も出来ないのですが、提供できないが未だ死活的問題ではない。私の服だったら提供できるが。

皆で我慢し助け合おう。

以上を全員に伝えてもらいたい。

社長」

4月18日月曜8時（本震後2日6時間経過）、

仕事が始まると多くの**地元調達先の状況確認**開始。

加工依頼先の転出先探し、普及見通し、県外からの調達品の予定納期確認。**交通状況確認**を急ぐ。受け入れ事業所を**被災地指定された嘉島**から松橋事業所に変更連絡。生活物資の調査、社員配布準備など同時進行。

社内も改めて人と会社施設状況掌握を総務に指示、

…中略…

4月19日12時24分（本震後3日11時間経過）**社内一斉配信**

以下を心配頂いている関係先へ送信した。

「ご心配頂いている皆様へ

弊社、4月14日、16日と2回の大きな地震に見舞われました。各地より多くの心配と励ましの声を戴き大きな励みとなりました。…中略…**4月18日月曜日には何とか通常業務の復旧**に至りました。

未だ断水や一部の壁材落下や窓の破損のままの業務再開ではありますが、外部との部材調達などの**サプライチェーンもほぼ確認を終了**いたしました。加工や表面処理など暫くは一部には変更を余儀なくされるものも有りますが、…中略…、多少の不便さと収束しつつあると感じる余震の中ではありますが、**数日の混乱で何とか通常業務に復帰**いたしました。

また、予断を許さない部分もあるかと存じます。今後ともご支援ご指導宜しくお願い申し上げます。

取り急ぎ復旧の報告まで

株式会社プレシード

代表取締役社長 松本修一」

社員救済へ

4月20日 16時06分（本震後4日14時間経過）社内一斉配信

「トップメッセージ復活 20160420

各位

多くの人達、機関の支援を受け次第にプレシードは復活しつつある。…中略…そして**全員の生活を守るのが会社であり社長の務め**であると思う。

社員を守る会社の機能が何とか復旧した現在、**個人の生活の復旧支援**を急がねばならない。特に衣食住で困窮している諸君は早く遠慮なく、所属本部長に申し出て戴きたい。

安心して働ける個人環境の整備を会社は支援をする。物の移動や調達、家族の世話なども内部で調整支援したい。

体調不良や生活苦も伝えてもらいたい。住居、金、食品、健康、家族、精神不安、…なんでもいい。

諸君は会社を復旧させて守ってくれた、会社は諸君を守る。

会社も個人も**今から長い復活の闘いが始まる**、助け合うことが一番だ。失ったものは大きい、**今から得るモノは大きい感動でありたいものだ**。

最も困っている人を最も篤く助けたい。それでもし余力がふり絞れば、社会を助けることが出来る存在になろうではないか

社長」

4月21日8時42分（本震後5日7時間経過）社内一斉配信
「トップメッセージ復活20160421

各位

社長独断で会社関係者が日常業務にあたり困っていることを**会社で手助けするP J**を立ち上げる。

業務改革部のM本部長、補佐に経営企画室のN主任を任命する期間を定めない短期P Jとする。

先ず、生活に困っていることの詳細は各部門長に伝えてもらいたいが、物品での困りごとはM本部長に直接メールで依頼して貰いたい。女性用品などはN主任へ連絡取られたし。
…中略…

どこまで出来るか分からないが、先ずは**会社の機能で個人の問題を極力解決し、全員が安心して働ける環境を復活したい。**

以上、本部長は全員に伝わる責任を果たしてもらいたい
社長 」

*****以上記録より*****

4.実録「熊本地震」-15-



5.行動を振り返って

全県**全く想定外で対策ほぼゼロ地域** 地震無き県が売りの地域だった

・事態掌握

社員安否→会社被害→会社機能復旧→社員衣食住確認→サプライチェーン確認と対応→

社員と家族の健康と環境掌握…→**今後見直しBCPマニュアル化へ**

・緊急連絡 普段のトップメッセージ斉メール配信が役に立った

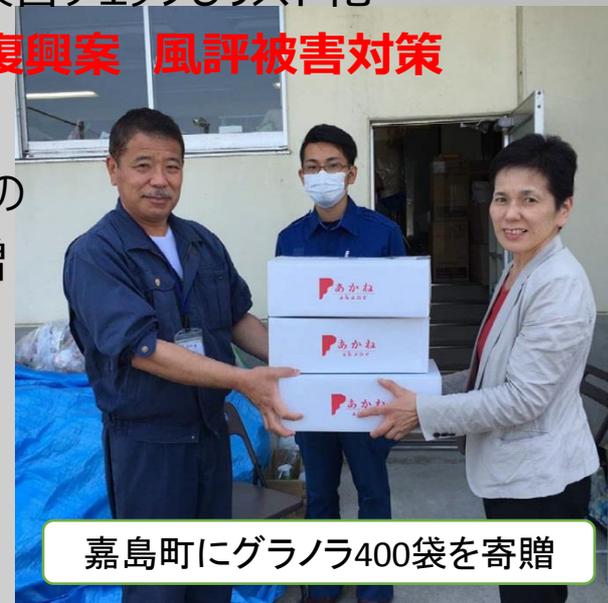
・被害の拡大要因を排除、**火、水、電気**

・**緊急復旧成功**：参加出来る者 終了予定時間連絡 被害チェックリスト化

・外部発信：行政・報道への状況発信継続 **復旧状況と復興案 風評被害対策**

・CSR：会社運営復活→社員支援→社会貢献

→**被災企業の食品工場復旧支援**、避難所で便秘の
ニュース→自社商品の大麦グラノラの400パック寄贈



嘉島町にグラノラ400袋を寄贈

7.情報



- ・メールと電話で社員と業務環境掌握 報道から状況と予測や支援情報

被害最大限を想定し収束へ：指示と目的、状況の伝達で安心感

短期：安否 食料 住居

中期：被害掌握と仮復旧

長期：被害復旧→創造的復興へ **工業団地リデザイン提案**へ

- ・パブリック報道

地震直後はTVとインターネットが頼りだった。正確な情報はパニック沈静効果大だが、停電の備えが意外と盲点

報道による風評被害懸念：「物が不足、届いていない」、「食料がオニギリを半分ずつ分けた」→買い出しパニック助長と過剰な物資到来

悲劇は大きく報道、機関や組織の活躍、好事は…小

悲劇的な記事は発生直後の大報道は復旧促進効果だが、悲劇ネタ報道が続くと平均実態とかけ離れる印象をもった。復旧への活躍・活動は励ましとなると思うが…

8. 課題と学び



「天災は忘れた頃にやってくる」「備えあれば憂いなし」とは言うが
…

•BCPの費用対効果に対しては、地震前より大きく考えが変わった、「万一は起こる事」へ。だが、企業は常に「どこまで」という課題が付きまとう。

•**無防備と万全の間**に現実の対応策：**何を諦めるか**

•もし火事発生していたら…、広範囲だったら、昼間だったら、真夏(冬)だったら…

災害後、想定する災害規模と**命以外に死守する範囲**の判断を考え始める

•BCPの入り口はLCP（最低限の生活維持計画）

*「仕事どころじゃない、命と衣食住」から

7. 落胆と感動



落胆

- ・熊本のシンボルと誇りの熊本城の崩壊
- ・大渋滞 全員車だが片道 4 時間の通勤発生、一時間はザラ
- ・トラウマ 眠れない 家に入れない 揺れに過敏反応 いつ終わる？

感動

- ・インフラ復旧：**見事!** 電力 高速道路 河川堤防…水道 ガス
- ・支援活動：民間、自治体・自衛隊・警察 **寄り添う存在自体が癒やし**
- ・支援物資の到来、安否確認と支援メール **大きな激励効果**
- ・日常(当たり前)への感謝と共通の危機→復興への**団結**へ
- ・社員の機敏な活動と笑顔
- ・続々と**ボランティア**来熊：味方に守られる安心感
- ・金融支援やグループ支援という企業支援での安堵感
- ・**安倍首相来訪**

7. 落胆と感動

- 安倍首相訪問



現場にいた全員で記念写真



工場壁崩落現場前



工場内の説明



被害状況説明



最後に

緊急復旧の時期を過ぎ、長い本格的復旧・復興の時期になりました。しかし、未だ山畑は荒れ道路も凹凸激しく、不通の鉄道、道路や橋も数知れません。

また個人の資産損壊も激しく、生活の不便さと重圧により体調不調者が一時続発するなど、今後は緊張弛緩が疲労感へ変わっていくのを感じます。

元通りへの回復に悲壮感で立ち向かうより、元以上への創造的復興をネアカの熊本県民は目指します。
温かい見守りと励ましを今後も長くお願いいたします。

感謝